

■注意事項

[製品仕様について]

- ・本製品は、フォークリフト操作者が倉庫内に設置された本製品を視認することで、壁、柱などの位置の確認、目測をする際の目印としての使用がその用途であり、実際にフォークリフトが壁、柱に衝突した場合の緩衝材としての強度を有していません。
- ・破損の恐れがありますので、製品の上に乗らないでください。
- ・歩行帯や車止めには絶対に使用しないでください。これらの用途に必要な強度を有していません。
- ・本製品は屋内用です、屋外では使用できません。
- ・冷蔵、冷凍倉庫には使用できません。
- ・用途以外でのご使用はお控えください。誤った使い方をすると、事故を招くおそれがあります。

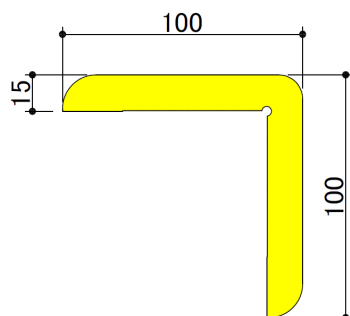
[使用に当たって]

- ・対応下地：コンクリート、石膏ボード、鉄塗装下地
 接着工法で施工するため、下地に剥がれや浮きがないか確認してください
 下地は汚れなどが付着していないこと、乾燥していることを確認してください
- ・5℃以下の環境での施工は接着剤の硬化不良の可能性があるので避けてください
- ・施工する下地の直角度やフラット性の確認をしてください。
 直角でない場合は下地調整を行ってください。
- ・施工する下地の面取りは不要です。ノロが出ている場合は除去してください。
- ・両面テープ、接着剤は同梱されていません。以下の推奨接着剤をご準備ください。
- ・保管の際は、雨水や直射日光を避け屋内に保管してください。

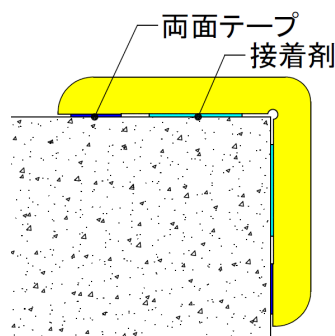
■製品図

樹脂製コーナーガード

100×100 ×L1,000mm



■納まり (コンクリート下地)



■別途調達部材

製品に同梱されていません、施工の際に別途調達ください。(以下推奨品)

- | | | |
|--------|------------|-----------------------------------|
| ○両面テープ | ・コニシ(株) | TMテープ W1-20(厚さ1mm×W20mm) |
| | ・アイカ工業(株) | キッチンパネル用 両面テープ ZK-31(厚さ1mm×W20mm) |
| ○接着剤 | ・コニシ(株) | ボンドMPX-1(変成シリコーン樹脂系) |
| | ・(株)タイルメント | MS-300(変性シリコーン樹脂系) |

〈両面テープ・接着剤の使用量目安 L1,000mm品〉

- ・両面テープ 約2m/製品1本当たり
- ・接着剤 333mlカートリッジ/製品約8本分

■施工方法

1. L寸調整

L寸カットが必要な場合は丸のこ、スライド丸のこなど使用してください。

切断小口にバリが生じた場合は、除去してください。

※製品を切断する際に、欠ける可能性があります、慎重に作業を行ってください。

2. 施工位置確認

施工する位置にあてがい、下地に出隅がなじむか確認してください。

床面から製品を10mm以上離して施工してください。

3. 製品への両面テープ貼り付け

製品内側の端から5mm程度内側に両面テープを

貼り付けてください。(図のように両端に貼り付けてください。)

両端の離型紙を150mm程度剥がし外向きに折り返してください。



4. 製品への接着剤塗布

両面テープ貼り付け部分より内側に接着剤をビード状に

塗布してください。(カートリッジガンでの塗工)

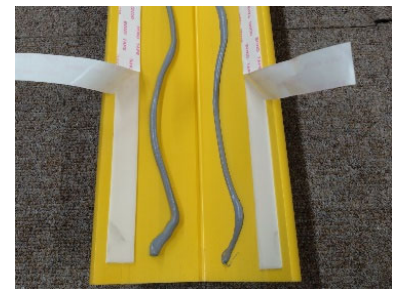
下地の被着面を確認し、図のよう波線上に塗布してください。

(C面取りしてある下地の場合は面取り手前までの範囲に塗布)

接着剤カートリッジの先端はΦ8mm程度でカットし、

接着剤の塗布高さが両面テープより3mm以上高くなるように

塗布してください。



5. 下地への貼り付け

施工位置を確認し、所定の位置に製品を施工してください。

先に離型紙をはがした部分を起点に下地馴染ませるように圧着しながら貼り進めてください。

(圧着する、離型紙を300mm程剥がすを繰り返して貼り進める)

圧着時には両面テープ部分をしっかり押えてください。

湿気硬化タイプの接着剤のため1日程度養生してください。

※接着剤が製品の可視面に付着した場合にはすぐに

拭き取ってください。



●お問い合わせ



CSE事業本部

本社/福井市三十八社町33-66

☎(0776)38-8030